

平成22年(2010年)3月20日発行



学位取得おめでとう 卒業生に贈る言葉

卒業おめでとう。今、社会への旅立ちを前に、諸君は期待と不安が入り混じった中にあるのではないだろうか。

本日ここに目出度く学位を取得された諸君に対し、衷心よりお祝い申し上げます。さて諸君の多くは、まことに厳しい経済不況のさなかにあって、それこそ骨身を砕きような就職活動を行い、これから社会人としての第一歩を踏み出されます。



理事長 大川陽康

申請までもなく、大学で学んだことの概ねは、いわば基礎的な事柄にすぎません。従いまして、その段階に踏みとどまっていれば、その多くは実社会では通用しません。しかし、どう対処するか? ずばり結論を申し上げます、それはひとえに「世界を知る力」や「社



学長 柳澤 章

「不安を抱くとすれば、自分が学んできた知識が役に立つのか、十分に発揮できるのか、きちんと評価されるのかなどの懸念ではないでしょうか。職場で、上司や先輩は新人のどこに目をつけるのでしょうか。

で、たいへん安易に相当量の情報や知識が入手できます。しかしながら、はつきり申し上げて、それは単なる「知」や「情報」の断片であって、それをいかに貯め込んで、本当に社会に役立つ英知や研究の栄養には成り得ません。と申しますのは、物事を的確

実際の知の絶えざる錬磨を!

「知」と「知」の見据え、有為な仕事を推進していくためには、「知」と「知」の縦横な連関。つまりは体系的かつ論理的に思考する力、言ってみれば大地に根ざす樹木のような形象の知識体系が不可欠なのである。文献をこつこつと地道にひもとく過程の中からこそ、そういう知の体系やシステム思

「自分の内面を磨くような本を読んできた人は輝いている。若者の魅力とは、粗削りでも自分の言葉で自分を表現することができる底力をいうのだ。経営者はそれを見ている」と。蛇足ながら、それに私なりの考えを加味させて頂くなら、そういう底力をベースに、自分なりの創意や工夫を、果敢に打ち出していける「胆識」をも育んでいくことが大切なのです。

「成功するための最善の方法は、もう一度試みることであり、健康を祈る。」

「成功する」と「健康を祈る」とは、もう一度試みることであり、健康を祈る。」

「成功する」と「健康を祈る」とは、もう一度試みることであり、健康を祈る。」

留學生別科日本語研修課程の平成21年度春の修了式が、3月1日(月)に学友会館ホールで行われた。今回の修了者は、計21名。国別で見ると、中国16名、台湾2名、ミャンマー2名、ベトナム1名である。今後の進路は、本学の学

留學生別科修了式

部へ10名、大学院等へ3名、本学以外の大学へ4名、専門学校へ2名の進学、その他2名となっている。これからも更に勉学に励み、将来は日本で学んだ知識や体験を活かし、母国と日本を結ぶ友好の架け橋となることを期待している。



学長から修了証書を受け取る別科生

カレッジマイスター30名誕生

カレッジマイスター プライマリー 34名



自作について熱く語る学生(物理体験工房)

本年のカレッジマイスター1プライマリーは2工房から34名が誕生する。授与式は、来年度4月の各学科のオリエンテーション時に行われる。カレッジマイスターの称号を得た諸君には、総合的な判断力を持ち、それぞれの生産現場においてプロジェクトリーダーを務めることができる技術者として、ますますの精進と今後の活躍が期待されている。

盛況かつ高評価をいただいた 中小企業技術経営シンポジウム

去る1月23日(土)午後、ご参加を得て、熱気溢れる学術会館において本大学院シンポジウムとなった。主催の「中小企業技術経営シンポジウム」が盛大に開催された。中小企業のイノベーションが日本を救う!をテーマに、基調講演、特別講演、研究発表などの多彩なプログラムが展開された。日頃本大学院にて行われている教育内容のエッセンスをもとに、新しい時代の中小企業経営のかたちを参加者に訴えた。本大学院初の対外的なイベントとあって積極的展開した広報活動も功を奏し、二百名近い多くのゲストの参加が次々と語られた。健康を祈る。」

- カレッジマイスター クセレント
機械加工工房(5名)
鳴村達也、柴田将行、藤家広大、福田圭、古谷泰一
型技術工房(8名)
阿部和也、大野仁嗣、小野翼、寒沢祐介、楠部恭介、小池正佳、濱野大介、松本芳則
エンジン工房(5名)
川邊浩介、飯島博明、宍戸貴明、長島光、山田浩介
マイコン応用回路工房(1名)
五十嵐大輔
マイクロ・ナノ工房(5名)
岸部一機、進藤貴徳、早船裕亮、廣瀬太一、前沢壮輔
ネットワーク構築工房(4名)
天川剛志、糸賀辰一、加藤浩太、山口哲平
福祉情報機器製作工房(2名)
小栗裕樹、鈴木明文
カレッジマイスター プライマリー
ものづくり入門工房
青木翔太ほか30名
物理体験工房
荒川功大ほか2名

平成  
二十一年度  
**卒業生一覽**  
3月20日付  
確定者

早期卒業

【建築学科】

機械工学科

電気電子工学科

建築学科

# 3月20日 学位記授与式に 学長賞受賞者を表彰

●平成21年度「学長賞(学部生・大学院生)」受賞者

	学科／専攻名	氏 名	出身校
学部	機械工学科		
	電気電子工学科		
	建築学科		
	システム工学科		
	情報工学科		
大学院	機械工学専攻		
	建築学専攻		
	システム工学専攻		

学長賞は学業成績が特に優れ、かつ人物が優秀と認められた学部生と、学術研究業績が特に顕著と認められた大学院生に贈られる。先の選考委員会を経て、平成21年度の学長賞が決定し、今年度は、学部生15名、大学院生4名が受賞した。

システム工学科

情報工学科

大学院工学研究科修了生

●博士前期課程

〔機械工学専攻〕

●博士後期課程

課程博士

〔システム工学専攻〕

〔機械工学専攻〕

〔システム工学専攻〕

〔電気工学専攻〕

〔情報工学専攻〕

〔建築学専攻〕

大学院技術経営研究科修了生  
(予定)

●専門職学位課程

〔技術経営専攻〕

◎宮代キャンパス学位記授与式  
3月20日(土)

◎神田キャンパス学位記授与式  
3月21日(日)

課程博士

# 博士号取得

## おめでと〜っ〜っ〜っ

### 第26回教育改革シンポジウム

「ものづくり環境学科、創造システム工学科、生活環境デザイン学科—教育プログラムの現状報告と今後の展開」



新学科の「教育プログラムの現状報告と今後の展開」をテーマとする、第26回教育改革シンポジウムが12月17日に開催された。学科主任担当教員が新学科の教育プログラムや

授業方法等について報告した。ものづくり環境学科からは「からくり人形」や「マイクローカー」などを用いたユニークな取り組みが、また創造システム工学科からは最先端技術の展示と学生の自主的な学習を促進する「未来創造ホール」の内容が紹介された。最後に生活環境デザイン学科からは、インテリアおよび福祉空間デザインコースで予定されている実践的教育内容と設置予定の新しい実験室のイメージが紹介された。これら3学科には

### 天満宮例祭

平成22年度日本工業大学天満宮例祭が2月27日(土)社前において厳粛に挙行された。

当日は、田川崇敬会会長以下、大川理事長、柳澤学長、庄司宮代町長らが参列。学生諸君のより一層の学業向上と繁栄を祈念した。



協定書を交わす柳澤学長(左)と石川市長

### 春日部市との包括協定締結

2月12日(金)、本学と春日部市との間で、「春日部市と日本工業大学との連携に関する協定書(包括協定)」が締結された。両者が密接に連携・協力し、工学技術を生かして地域の課題に迅速かつ適切に対応、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的としている。具体的には建築・都市のデザイン、都市・住環境の向上、生涯学習の推進などで連携する。

### 桜市

お花見に行った時、皆さんが関心を持つのは花と団子のどちらでしょう？その両方を楽しめるのが、宮代町の春恒例のイベント、「桜市」です。川に沿って植えられた桜の木が可憐な花をいっぱいにつけ、その下では

宮代町 163号



### 工友会 山陰支部発足

平成22年2月6日(土)、松江市ホテル白鳥にて、日本工業大学工友会山陰支部(鳥取県および島根県)の設立総会を開催した。支部長には、建築学科の4期生である小松義昌氏が指名された。

### 人事異動

- 【定年退職】(3月31日付)
  - 寺島幸雄教授(機械工学科)
  - 山口義昭教授(電気電子工学科)
  - 伊藤庸一教授(建築学科)
  - 岩隈利輝准教授(建築学科)
  - 加村隆志准教授(建築学科)
  - 矢部正行教授(情報工学科)
  - 廣瀬由紀子事務職員(総務部広報室)
- 【退職】(3月31日付)
  - 原利次副学長
  - 大島昭浩教授(専門職大学院)
  - 堀田勝喜教授(電気電子工学科)
  - 平岡麻里講師(共通教育系)
  - 杉本宏昭講師(共通教育系)
  - 今村博男助手(電気実験センター)
- 【国外出張】
  - 呉志良准教授(留学生別科) / 出張先 中国 11 / 14
  - 矢部正行教授(情報工学科) / 出張先 エジプト 12 / 19 / 25 / 目的 2009 年新技術、モヒリティ、セキユリティ国際会議にて論文発表
  - 成田剛准教授(建築学科) / 出張先 ヲラス(12 / 24 / 1 / 10) / 目的 ヲラス国シエンクアン寺院遺跡群保存計画提案のための現況および建築様式に関する現地調査
  - 伊藤庸一教授(建築学科) / 出張先 インドネシア(12 / 25 / 30) / 目的 インドネシアの風土と建築調査
  - 伊藤庸一教授(建築学科) / 出張先 韓国(1 / 24 / 26) / 忠州都市再生韓日シンポジウムにて発表
  - 岡野和馬(留学生別科) / 出張先 サウジアラビア(1 / 24 / 31) / サウジアラビア王国高等教育省主催国際高等教育フォーラム参加
  - 平岡麻里講師(共通教育系) / 出張先 イギリス(2 / 21 / 3 / 7) / 目的 英国におけるものづくりの国日本のイメージと日本技術教育観に関する史的・現代的調査
  - 今西武治(英語教育センター) / 出張先 カナダ(2 / 22 / 3 / 29) / 目的 平成21年度海外英語セミナー引率
  - 田中隆准教授(英語教育センター) / 出張先 カナダ(3 / 1 / 23) / 同前
  - 渡辺勝彦教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ネパール(3 / 4 / 10) / 目的 「カトマンズ盆地における都市景観の形成の研究」現地調査
  - 黒津高行教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ネパール(3 / 7 / 14) / 目的 パタン市仏教僧院街区における中庭建築の調査および文献収集

### 平成21年度 文部科学省補助金決定

平成21年度私立学校施設整備費補助金及び私立大学等研究設備整備費等補助金の交付内定があった。まず、「太陽光発電システム導入事業」は、機械システム学群棟に設置し、省エネルギー改善活動の推進を図る。本学は従来から技術と

環境の調和を配慮できる技術者の育成を図っているが、本事業を環境共生技術に係る教育研究の一環としても取り入れる。次に、「創造性授業展開のための人間型ロボット設備」は、実生活や社会福祉における活用を学生に想起させる。また、ロボットを動かすことで、体験による興味からスムーズに数学等の基礎学習に向かうことも目的としている。

柳澤学長を始め、藤田総務部長、鳥取後援会長長等が来賓として出席し、懇親会も盛況に催された。

### 成人式講演会

平成22年1月14日(木)、18時30分から学生会館ホールにて、第29回成人式講演会が開催された。今年度は「名探偵コナン」や「犬夜叉」等活躍中の人気声優、山口勝平、成田剣の両氏によるトークショー、M-1グランプリ等に出演している漫才コンビ、334(サンサンシー)のお笑いライブが行われ、新成人へ熱いエールが送られた。

- ◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先 タイ(11 / 27 / 12 / 1) / 目的 学生募集活動および機関間協定に基づくKUMUTT大学院学生に関する最終報告書作成のための現地調査
- ◆張曉友准教授(機械工学科) / 出張先 中国(12 / 9 / 16) / 目的 第7回日中情報技術および制御に関する国際会議にて研究発表
- ◆矢部正行教授(情報工学科) / 出張先 エジプト(12 / 19 / 25) / 目的 2009 年新技術、モヒリティ、セキユリティ国際会議にて論文発表
- ◆渡辺勝彦教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ネパール(3 / 4 / 10) / 目的 「カトマンズ盆地における都市景観の形成の研究」現地調査
- ◆黒津高行教授(生活環境デザイン学科) / 出張先 ネパール(3 / 7 / 14) / 目的 パタン市仏教僧院街区における中庭建築の調査および文献収集

### 加藤君が学会講演会で新人賞受賞

機械工学科 4年・梅崎研 究室の加藤功二郎君(昭和成22年1月9日に開催された日本非破壊検査協会心臓・ひずみ測定と強度評価シンポジウムで新人賞を受賞した。講演論文題目は「液体包装袋の注ぎ口における醤油の蒸発の観察」である。

宮工業高校出身)が「第11回シエラ学生設計競技2009」において最優秀賞を受賞した。課題のテーマは「本を読むための木の扉」で、国内外からの応募660作品の中の頂点に輝いた。

田沼大輔君 インスタレーションのコンペで入賞 建築学科3年の田沼大輔君(館林商工2009)コンペティションにおいて入賞した。田沼君の作品は、加賀伝統の模様をプリントした和紙と

加藤直翔君 設計競技最優秀賞受賞 建築学専攻 修士1年・足立研究室の畑直翔君(大

### システム工学科 鈴木清研究室高橋直樹君 低粒加工学会より「優秀講演論文賞」を受賞

システム工学科 4年・鈴木清研究室の高橋直樹君(長岡工業高校出身)が、低粒加工学会学術講演会で「優秀講演論文賞」を受賞した。受賞論文は、新しいダイヤモンド焼結体の高効率・高精度加工技術を開発したものである。その新規性や独自性などが評価された。

システム工学科 4年・鈴木清研究室の高橋直樹君(長岡工業高校出身)が、低粒加工学会学術講演会で「優秀講演論文賞」を受賞した。受賞論文は、新しいダイヤモンド焼結体の高効率・高精度加工技術を開発したものである。その新規性や独自性などが評価された。

システム工学科 4年・鈴木清研究室の高橋直樹君(長岡工業高校出身)が、低粒加工学会学術講演会で「優秀講演論文賞」を受賞した。受賞論文は、新しいダイヤモンド焼結体の高効率・高精度加工技術を開発したものである。その新規性や独自性などが評価された。

システム工学科 4年・鈴木清研究室の高橋直樹君(長岡工業高校出身)が、低粒加工学会学術講演会で「優秀講演論文賞」を受賞した。受賞論文は、新しいダイヤモンド焼結体の高効率・高精度加工技術を開発したものである。その新規性や独自性などが評価された。

### 学生代表と柳澤学長の第8回懇親昼食会

学生会は1月25日(月)、学生自治会の各委員長8名(代理1名)、柳澤学長、学生支援部の梅崎部長、吉見課長が出席して行われた。学生の自己紹介の後、学長が日頃の自治会活動を労い、その経験が就職面でも有利になるとアドバイス、自身の学生時代の体験等を語った。学生からは、東門の通行改善等の要望があり、これらについては今後、大学側で検討していく。

特別奨学生入試、ゼミ試験を本学で実施 大学入試センター試験が1月16日(土)・17日(日)の両日にわたって実施され、本学は同試験の試験会場(隔年開催)となった。

また、本学では今年度より特別奨学生入試第2期を新たに導入した。採用された入学された方には、1年次の学費の半額が免除となる。

大学のこんなイベントが 見てみよう! 3/28(日) 学科紹介、研究室ツアー、体験授業、個別進路相談会など

### キャンパス整備速報 「機械システム学群棟の屋根に太陽光発電システム150kW設置」

今回の太陽光発電システム設置工事は、文部科学省平成21年度「エコキャンパス」補助に採択された。2月末に本事業が完了。150kWで、本館のシステムを合わせて463kWの電力を供給する。



屋上は太陽光パネルで覆われている

### 編集後記

▼卒業生諸君、おめでとう。また、今日の学位記授与式を迎えられたご父母の皆様には心から御祝いを申し上げます。

▼昨今の経済状況から日本は益々厳しい状況にあり、本年度の卒業生は「就活」においてその身を以て実感したことや、四年間の勉強成果と成長をすぐに発揮できる卒業生と、そうでない場合とに分かれてしまうことになるが、本学で培った技術者としての最先端の知識と人間力を活かし、さらに努力を継続して頑張ってもらいたい。人生には、運・不運とか色々なことが起きるだろうが、未来のことは何度でも自力で勝負できる。健闘を祈る。(F)

環境配慮の観点から再生紙を使用しております。